

2011年度

科目名	英語学演習1				
担当教員	田畑 智司				
配当	英語3		コード	14051	
開期	前期	講時	月曜日4限	単位数	2
授業テーマ	コーパス言語学入門(基礎編)				
目的と概要	コーパス言語学の概説書を読みすすめることで、まず基礎的事項を習得する。図表を用いたプレゼンテーションに加え、British National CorpusやLOB、Brown、FLOB、Frown等の各種コーパスを用いた言語処理のデモンストレーションを通して、コーパスから有用な言語事実や言語使用のパターンを探し出すにはどのような工夫が必要か、言葉を分析する上で必要な洞察力を身に付けるトレーニングを行う。				
成績評価法	授業時のプレゼンテーション・リポート(50%)、学期末試験の成績(50%)により評価する。				
テキスト	石川慎一郎『英語コーパスと言語教育』(大修館書店)				
参考書	齊藤俊雄、中村純作、赤野一郎(編)『英語コーパス言語学:基礎と実践 改訂新版』(研究社)				
履修に当たっての注意・助言/準備学習	輪番制の発表は2〜3人のグループ単位で発表を行ってもらうので、あらかじめ誰とグループを組むか考えておいてもらいたい。なお、欠席が4回以上ある場合は単位認定しないので、無駄な欠席をしないよう努めてもらいたい。				
講義計画					
1. Introduction〜コーパスとはなにか〜 2. コーパスの諸相 3. コーパス言語学黎明期〜Brown Corpusの時代 4. 大規模コーパス (1) 〜British National Corpus 5. 大規模コーパス (2) 〜Bank of English 6. コーパス研究準備編 7. コーパス研究の流れ 8. コーパス研究の視座 9. コーパスと言語の計量 10. 語数・頻度差の計量 11. 特徴度の計量 12. コロケーションとlexical priming 13. 共起強度の計量 14. Semantic prosody 15. 総括					